

平成 30 年度 9 月定例記者会見 次第

日時：9 月 28 日（金）13 時 30 分～

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞、糸島新聞、西日本新聞、毎日新聞、読売新聞
NHK福岡放送局

〔糸島市〕市長、副市長、教育長

関係部 教育部、企画部

関係課 文化課、地域振興課、秘書広報課

1 市長あいさつ

2 10月のイベント

イベント情報

3 案件

（1）平成 30 年度伊都国歴史博物館秋季特別展の開催について

（文化課） 資料 1

（2）ママライター育成講座開講式について

（地域振興課） 資料 2

（3）東京ミッドタウン日比谷で期間限定糸島食材メニューを提供

（秘書広報課） 資料 3

（4）博多大丸「九州探検隊」アンバサダー認定式について

（秘書広報課） 資料 4

4 市長短信

短信資料

5 懇談・その他

次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：10 月 25 日（木）13 時 30 分～

場所：糸島市役所 庁議室

定例記者会見資料

平成30年9月28日

教育部文化課

平成30年度伊都国歴史博物館秋季特別展

「倭の境界『對馬国』」展の開催について

平成30年度の伊都国歴史博物館秋季特別展として、下記のとおり「伊都国から倭人伝の国々を探る」シリーズ「倭の境界『對馬国』」展を開催いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 名称 平成30年度伊都国歴史博物館秋季特別展
伊都国から倭人伝の国々を探るシリーズ
「倭の境界『對馬国』」
2. 主催 糸島市立伊都国歴史博物館、糸島市教育委員会
3. 協力 対馬市教育委員会、対馬市博物館建設推進室、
魏志倭人伝のクニグニネットワーク
4. 会場 糸島市立伊都国歴史博物館 企画展示室
5. 会期 平成30年10月6日(土)～11月25日(日)
6. 開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
7. 休館日 月曜日(10月8日(月・祝)は開館、翌9日(火)が休館)
8. 料金 大人300円・小中学生200円

障害者手帳をお持ちの方(付き添いの方1名まで)無料

9. 開催趣旨

伊都国歴史博物館では、本年より、「伊都国」を基点に、魏志倭人伝に記された玄界灘沿岸の国々の様相を総観するシリーズ展示「伊都国から倭人伝の国々を探る」シリーズを開催いたします。倭人伝に記された他の国々をつぶさに探っていくことで、倭人伝の国々の中での「伊都国」の重要性を相対的に再認識してもらうことを目的としています。

今回はその第1弾として、大陸から日本列島へ渡海する際に最初に訪れる「倭」の玄関口であった「對馬国」をとりあげます。

「對馬国(對海国)」の比定地とされるのは、長崎県對馬です。当地は、わが国(倭)と朝鮮半島(韓)との境界に位置し、倭人伝に「南北市糴(米を獲るために朝鮮半島と日本本土を往来し交易を行っていた)」と記されるように、弥生時代において、双方の地域との密接な海上交易の結節点となってきました。

對馬は、こうした玄界灘交易の証ともいえる大陸系の独特な青銅器類、そして倭人が海上交易の祭器としていた「銅矛」が多数出土する地域としても知られており、「倭」と「韓」の要素が混在する独特な歴史・文化が形成されている地域です。

このように「倭の境界」とも呼べる「對馬国」の時代の主要な出土品が、海を渡った「伊都国」の地で一堂に会します。「對馬国」の出土品が一か所にこれだけ集まる展示会をはじめてのことで貴重な機会といえます。

ぜひ、本展を多くの方々にご覧になっていただき、「對馬国」の歴史・文化を知っていただき、さらには「伊都国」をはじめとする倭人伝の国々の魅力にも触れていただきたいと思います。

10. 主な展示品

()内は遺跡の所在地

今回の特別展には、對馬国の有力層墓である塔の首遺跡や木坂遺跡出土の副葬品の数々、わが国では對馬でしか出土してない特異な青銅器類、對馬で多量に出土している銅矛など、對馬出土の重要文化財14件63点をはじめ県指定文化財、市町村指定文化財の重要資料19件20点を含む、計168件250点余の資料が伊都国歴史博物館で展示されます。

【主な展示品】

- ・佐賀貝塚出土品(国重文/長崎県對馬市) ・恵比寿山遺跡出土品(長崎県指定文化財/長崎県對馬市) ・かがり松鼻遺跡出土品(長崎県指定文化財/長崎県對馬市) ・八口ウ遺跡出土品(對馬市指定文化財/長崎県對馬市) ・伝三雲川端出土広型銅矛鏃型(糸島市指定文化財/糸島市) など

計168件250点余の展示品を予定しております。

11. 関連事業

特別講演会

開催期間中、著名な講師をお招きして展示会のテーマに関連した特別講演会を3回開催いたします。

(1) 10月14日(日) 14時～

講演 「對馬国の実像 ～水脈がつくる世界～」

講師：尾上 博一 氏（対馬市教育委員会文化財課副参事兼係長）

(2) 10月28日(日) 14時～

講演 「南北市糴 ～対馬にみる日韓交渉のすがた～」

講師：武末 純一 氏（福岡大学教授）

(3) 11月25日(日) 14時～

講演 「武器形青銅器にみる「倭人」の祭祀」

講師：吉田 広 氏（国立大学法人愛媛大学ミュージアム准教授）

いずれも会場は伊都国歴史博物館4階研修室、定員：100名（要申込み・先着順）

料金：各回300円（観覧料含む）、申込み方法：博物館へ電話による申込み

《本件に関するお問合せ先》

糸島市立伊都国歴史博物館（糸島市教育委員会文化課博物館係）角・河合

〒819-1582 福岡県糸島市井原 916 TEL 092-322-7083 FAX 092-321-9155

「伊都国から魏志倭人伝の国々をさぐる」シリーズ



伊都国を基点として「魏志倭人伝」に記された玄界灘沿岸の国々を紹介するシリーズ展示。

今回はその第1弾として、倭の境界の国、『對馬国』をとりあげます。

倭の境界「對馬国」の概要

始度一海千余里至對馬国
其大官曰卑狗副曰卑奴母離
所居絶島方四百余里
土地山險多深林道路如禽鹿徑
有千余戸無良田食海物自活
乘船南北市糴

「魏志倭人伝」に記された「對馬国」

(韓国から)始めて一海を渡る千余里、對馬(對海)国に至る。その大官を卑狗といい、副を卑奴母離という。居る所絶島、方四百余里ばかり。土地は山險しく、深林多く、道路は禽鹿の徑の如し。千余戸あり。良田なく、海物を食して自活し、船に乗りて南北に市糴す。

倭の境界「對馬国」展の概要

【会場】 伊都国歴史博物館 1階企画展示室
(所在地:福岡県糸島市井原916)

【会期】 平成30年10月6日(土)～11月25日(日)

月曜休館 ただし10月8日(月・祝日)は開館し、翌9日(火)が休館
開館時間 午前9時～午後5時

【観覧料】 大人300円(団体200円)

小・中・高校生200円(団体150円)

※団体割引の適用は20名以上、障がい者及び付き添い人は無料

第I章

對馬国黎明

～縄文海人たちの足跡～

對馬国成立以前、縄文時代の對馬では、縄文人たちが朝鮮半島や九州とを行き来しながら、漁撈を中心とした生活をしてきました。

縄文海人たちのアクセサリー
佐賀貝塚出土品 (国重文)



第II章

對馬国の形成と人々の暮らし

對馬は大陸から日本列島にわたる際の重要な経由地であり、また朝鮮半島に最も近いため、朝鮮半島の影響の強い文物が多く出土します。

對馬で多く出土する朝鮮半島系石剣
大田原丘遺跡出土有柄石剣



第三章 「倭」と「韓」が混在した 特異な青銅器文化

對馬国は、当時の倭と朝鮮半島との境界に位置することから、倭人伝に「南北市糶」と記されるように、南北双方の地域と密接な海上交易をおこなっていました。

對馬国の有力者の墓には、その事を示すように、朝鮮半島系の特異な青銅器類と倭人の祭器である銅矛などが副葬され、両方の地域の要素が混在しているのが特徴です。

對馬国の有力者の墓の副葬品
木坂遺跡出土品



第四章 銅矛の島

對馬は、倭人が海上交易の祭器として使用したと考えられる「銅矛」が多く出土する地域としても知られています。これまで120本以上の銅矛が島内から出土しており、「銅矛の島」とも呼ばれています。

海上交易の拠点としてさかえたこの地域の歴史的特性をよく表しています。

埋納された銅矛
増田山遺跡出土銅矛

画像提供いたしますので、掲載等希望の写真がございましたら伊都国歴史博物館(092-322-7083)担当河合までお申しつけください。

平成30年度伊都国歴史博物館秋季特別展
 伊都国から倭人伝の国々を探るシリーズⅠ

倭人の境界

對馬國



知られざる国境の島、

對馬の実像にせまる

平成30年 10.6(土) ▶ 11.25(日)

開館時間 / 午前9時～午後5時

月曜休館 ただし10月8日(祝)は開館、翌9日(火)が休館

【会場】伊都国歴史博物館 1階企画展示室

【観覧料】大人300円(200円) 小中高生200円(150円)

※()は20名以上の団体料金
 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳(以上の手帳を提示した人の介護者1人を含む)を提示の場合は無料

【関連イベント】会場 / 糸島市立伊都国歴史博物館 定員 / 100名(要事前申込・先着順) 料金 / 各回300円(観覧料含む) 申し込み方法 / 9月15日(土)より電話による申込み開始

10月14日(日)14時～

特別講演会①
 對馬国の実像

～水脈がつくる世界～

講師:尾上 博一氏

(対馬市教育委員会文化財課副参事兼係長)

10月28日(日)14時～

特別講演会②
 南北市糴

～對馬にみる日韓交渉のすがた～

講師:武末 統一氏

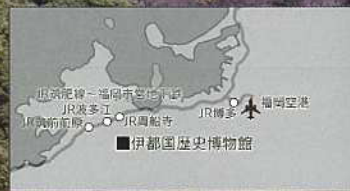
(福岡大学教授)

11月25日(日)14時～

特別講演会③
 武器形青銅器にみる
 「倭人」の祭祀

講師:吉田 広氏

(国立大学法人愛媛大学ミュージアム准教授)



【主催】糸島市立伊都国歴史博物館・糸島市教育委員会 【協力】対馬市教育委員会 対馬市博物館建設推進室 純志倭人伝のクニグニネットワーク

糸島市立 伊都国歴史博物館

「伊都国から倭人伝の国々を探る」シリーズ開幕!!

倭の境界 對馬国

知られざる国境の島、對馬の実像にせまる



對馬国の有力層墓の副葬品
塔の首遺跡出土品



對馬に多く出土する
稲作開始期の朝鮮半島系石剣
大田原丘遺跡出土有柄石剣



中国洛陽燒溝漢墓と同型式
對馬海人の劍の飾り
かがり松鼻遺跡出土剣把頭飾
(長崎県指定文化財)

用途はいまだに謎
對馬国で出土する特異な青銅器類
木坂石棺墓群出土品



縄文時代の對馬海人のアクセサリー
佐賀貝塚出土品(重要文化財)

玄界灘に浮かぶ對馬は、「魏志倭人伝」に記された「對馬国(對海国)」の比定地。

当地は、わが国(倭)と朝鮮半島(韓)との国境に位置し、倭人伝に「南北市糴」と記されるように、弥生時代において、朝鮮半島南部と北部九州の双方との密接な海上交易の結節点となってきました。

對馬は、こうした玄界灘交易の証ともいえる、大陸系の特異な青銅器類や倭人が海上交易の祭器としていた「銅矛」が多数出土する地域として知られており、「倭」と「韓」の要素が混在する独特な歴史・文化が形成されています。

本展は、「伊都国」を基点に、魏志倭人伝に記された玄界灘沿岸の国々の様相を総観する連続展示、「伊都国から倭人伝の国々を探る」シリーズの記念すべき第1回。

知られざる国境の島、對馬の実像にせまります。



倭と韓が混在する「国境の島」の青銅器
高松壇遺跡出土品

【関連イベント】会場／糸島市立伊都国歴史博物館 定員／100名(要事前申込・先着順) 料金／各回300円(観覧料含む) 申し込み方法／9月15日(土)より電話による申込み開始

10月14日(日)14時～
特別講演会①

對馬国の実像

～水脈がつくる世界～

講師：尾上 博一氏

(糸島市教育委員会文化財課副専事兼係長)



10月28日(日)14時～
特別講演会②

南北市糴

～對馬にみる日韓交渉のすがた～

講師：武末 純一氏

(福岡大学教授)



11月25日(日)14時～
特別講演会③

武器形青銅器にみる
「倭人」の祭祀

講師：吉田 広氏

(国立大学法人愛媛大学ミュージアム准教授)



平成30年 10.6(土)▶11.25(日) 開館時間／午前9時～午後5時
月曜休館(ただし10月8日(月・祝)は開館、翌9日(火)が休館)

【会場】伊都国歴史博物館 1階企画展示室

【観覧料】大人300円(200円)・小中高生200円(150円) ()は20名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳(以上の手帳を提示した人の介護者1人を含む)を提示の場合は無料。

糸島市立 伊都国歴史博物館

〒819-1582 福岡県糸島市井原916番地
TEL:092-322-7083 FAX:092-321-9155

■バス

JR筑肥線波多江駅からミニバス井原山線井原山行き、伊都国歴史博物館前下車。または、JR筑肥線周船寺駅からミニバス川原線川原行き、高祖バス停下車徒歩10分。

■車

【福岡市方面から】

九州自動車道福岡インターまたは太宰府インターから福岡都市高速道路經由西九州自動車道今宿インターを降り、国道202号飯民交差点を左折、約8分。

【唐津方面から】

国道202号波多江交差点を右折、約8分。

ママの力をテレワークで活かす！ 「ママライター育成講座」開講します。

概 要

- 市では、情報発信技術を使い、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方である「テレワーク」を推進しています。
- 今回、テレワーカー養成の一貫として、働きたいお母さん達のしごと作りに繋がるママライター育成講座を開催します。（企画運営業務は日本テレワーク協会に委託）
- 事業目的は、ライティング技術の習得によるプロのライター育成と、講座を通じての仕事仲間とのネットワークづくりなどを行い、ママライターとしての仕事を創り出すことを目指しています。
- 全7回の講座は、各分野の専門家が講師を務め、受講者は講座や課題を通じ、取材のスキルや正確な文章作成、写真等の仕事に繋がる技術を学ぶことができます。
- また、講座の卒業制作として、実際に「広報いとしま」のコラムや「糸島市子育て世代応援サイト いとネット」への原稿執筆を予定しています。

開 講 式	10月17日（水） 10時から10時30分
受 講 者	10名
開 催 場 所	前原テレワークセンター ママトコワーキングスペース （糸島市前原中央2丁目13-17）
講 座 内 容	別紙「ママライター育成講座」チラシのとおり



昨年の受講の様子

昨年からの変更点

- ・講義の追加
取材記事を書く前段階の初歩的な「文章の書き方」講義
責任感やコミュニケーション能力を高める「自営型テレワークについて」講座
- ・講座時間を延長
ランチミーティングを実施し、受講生同士の交流を深めるため、講義時間を1時間半延長
- ・講座中の個別相談の時間の確保

これまでのテレワーク推進の経緯

H27：ふるさとテレワーク推進事業により、地域実証実験を実施。

H28：国の補助事業を活用し、前原テレワークセンターのセキュリティ整備、サテライトオフィスの設置工事を実施。また、テレワークでの働き方を学ぶ、「仕事に繋がるテレワークスキルアップ講座（全4回）」を実施。

H29：子育て中の女性に新たな働き方であるテレワーク事業とライター技術を習得してもらい、ママライター育成講座を実施。

ママライター10名誕生

講座の特徴

<選考について>

- ・事前に応募説明会を実施し、講座の開催趣旨を説明。
- ・応募説明会に参加し、応募用紙を提出した方の中から、書類審査で選考を行う。
(『応募動機』、『糸島の子育てにおいて、気に入っているところ』について、それぞれ作文していただく。)
- ・応募説明会申込者16名

<託児について>

- ・講座受講中の託児が可能。(子ども1人につき1回300円で託児の手配あり。)
- ・お母さん達が、子どもの近くに居ながら講座を受講することができる。また、子育てについて、他のお母さんと情報交換や交流ができる。

【問い合わせ先】

企画部 地域振興課 市民協働係

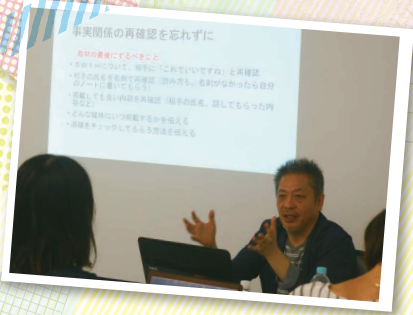
担当：藤本

TEL：323-1111（内線1322）

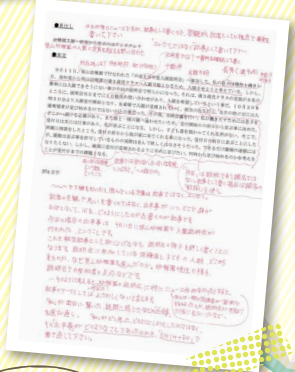
332-2062（直通）

仕事として
価値のある記事が
書けるようになろう！

糸島での暮らしを
さまざまな切り口で
情報発信！



未経験者
大歓迎!!



全7回
7,000円(資料代
別添300円/回1人)

平成30年度

ママライター育成講座

第2期

プロから文章作成
技術を学ぶ！

ライティングを
仕事にできる！

仕事の
ネットワークができる！

糸島が
もっと好きになる！

糸島市では、子育て中のお母さんの視点を活かして情報発信ができるママライターを育成します。糸島での子育ての実感や、暮らしを楽しむ身の回りの情報などを、正確に、興味深く表現する文章力を身に付ける講座です。未経験者や糸島に引っ越してきたばかりの人も大歓迎です！

講座概要

1 講義

情報発掘・自分の視点を価値にする方法、ライティングや取材の技術について

3 執筆と添削

各回の宿題で短い原稿を執筆。プロのライターがアドバイス

2 実地研修

取材や写真撮影の実施

4 卒業制作

糸島市子育て世代応援サイト「いとネット」、広報いとしまにコラム作成

ママライター第1期生

活躍中!!

- ※いとネット/協賛店レポート、メールマガジン
- ※糸島市公式サイト/「きっとみつかる糸島しごとさがし」「働く私の一日」
- ※マイタウン伊都、西新、姪浜/「クラブ応援団」などなど



応募
説明会

9月13日(木)・19日(水)

10:00~11:00 ※ママライター育成講座の応募には、応募説明会への参加が必要です。

会場

前原テレワークセンター

ママトコワーキングスペース

糸島市前原中央二丁目13-17 (前原郵便局の南側)



詳しい内容・申し込み方法は裏へ

ママライター育成講座

第2期

開催要項

対象

糸島在住の18歳未満の子どもがいる女性

10名程度

参加条件

- ・基本的なPCスキル(ワード、エクセル、インターネット接続)、基本的なデジタルカメラ操作のできる方
 - ・講座修了後にママトコで行う活動や仕事に関わる意思のある方
 - ・糸島市の子育て環境の充実のために貢献したい方
 - ・PCを持参できる方(どうしてもできない場合はご相談ください)
- ※応募者多数の場合は、応募書類により審査を行います。

受講料

全7回で**7,000円**(教材代) 託児**300円**/1回/1人

※取材等にかかる交通費は各自実費負担

会場

前原テレワークセンター ママトコワーキングスペース
(糸島市前原中央二丁目13-17)



講座スケジュール

※各回10:00~14:00

※講座の内容は変更になる場合があります

第1回目	10月17日(水)	1)開講式 2)「糸島市の情報発信について知る!」 講師:糸島市役所 広報いとしま担当者 3)「子どもが誇りに思えるような地域ブランディング」(公開講座) 講師:高山美佳氏((株)Local&Design 代表取締役) 久留米市田主丸町の巨峰農家へと嫁ぎ、「筑後子どもキャンパス」「久留米まち旅博覧会」など主に筑後地域のデザインを数多く手掛ける。 4)「インタビューをやってみよう①」 講師:佐藤倫子氏(福岡教育大学非常勤講師、(一社)ママトコラボ理事)
第2回目	10月24日(水)	1)「ライティング基礎講座」[取材の基本姿勢] 講師:加茂川雅仁氏(西日本新聞社 編集委員、西日本新聞メディアラボ デジタル編集長) 2)「文章を書くとは?」 講師:尾崎恭子氏(フリーライター、(一社)ママトコラボ代表理事)
第3回目	10月31日(水)	1)「写真の撮り方」 講師:渡邊精二氏(フリーカメラマン、元・新聞社記者) 読売新聞、共同通信で通算12年記者を務め、2011年から糸島市を拠点に写真家兼ライターとして活動中。JA糸島広報紙「○糸(まるいと)」の表紙の写真を手がける 2)「インタビューをやってみよう②」 講師:尾崎恭子氏
第4回目	11月14日(水)	講義と実践「取材の準備をして、取材に出かけよう!」 講師:原口弘美氏(西日本新聞社 マイタウン伊都 編集長)
第5回目	11月28日(水)	1)「媒体ごとの記事の書き分け方」[卒業制作について] 講師:加茂川雅仁氏(西日本新聞社 編集委員、西日本新聞メディアラボ デジタル編集長) 2)卒業制作①取材準備
第6回目	12月19日(水)	1)「自営型テレワークについて」(公開講座) 講師:中本英樹氏((一社)日本テレワーク協会主席研究員) 2)卒業制作②取材準備
第7回目	1月30日(水)	1)ワークショップ「ライターの仕事をするにあたって」 2)閉講式、昼食交流会

※別途、卒業制作の取材日を、12月5日(水)、1月16日(水)で予定をしています。

ママライター
育成講座への
応募方法

1 ママライター育成講座 応募説明会に参加

日時:9月13日(木)もしくは9月19日(水)
10:00~11:00

会場:ママトコワーキングスペース

お子様と一緒にどうぞ!この日に参加できない方はご相談ください。個別に説明を行います。(説明会不参加の方は、応募できません)
ママライター育成講座応募説明会参加フォームから参加申込みをしてください。

URL <http://ux.nu/dkbf>

締め切り:参加希望日の2日前まで



2 応募用紙データをメール送信

下記のメールアドレスまで応募用紙データを添付してお送り下さい。

送信先:mamatocolab@gmail.com

応募締め切り 9月27日(木)必着

※応募者多数の場合、書類審査後に、
10月5日(金)頃にメールで
選考結果をお知らせします。



申込・問合せ先/一般社団法人 ママトコラボ mamatocolab@gmail.com

主催/糸島市 (地域振興課 ☎092-332-2062)



子育て世代の移住・定住を促進するために、子育て中の女性の新たな働き方として、ママライター育成事業に取り組んでいます。

東京ミッドタウン日比谷 6F 『DRAWING HOUSE OF HIBIYA』
期間限定！10月1日～11月末まで
糸島食材を使ったメニューが登場！

DRAWING HOUSE OF HIBIYA (ドローイング ハウス・オブ・ヒビヤ)

春夏秋冬、季節ごとに2つの土地に焦点をあて、新鮮、安全な旬、はしりの料理を提供しているレストラン。レストランの料理長が現地に直接訪問し、自分の五感で感じて良いと思った厳選した食材でメニューを考案し、提供しています。

レストランのテーマは、「ニッポンのテロワールを体感」。

10月1日(月)から11月末まで、秋のテロワールメニューとして「糸島・山形」の2つの地域の食材を使った料理が提供されます。

メニューは、DRAWING HOUSE OF HIBIYA のHPにてご覧ください。

「テロワール」とは・・・土壌、気候、土地、作物にその土地特有の性格を与える生育環境。

DRAWING HOUSE OF HIBIYA 料理長 宮本シェフ糸島2回訪問！！

レストランの料理長 宮本光シェフは、平成30年1月、8月と2回糸島を訪れ、農場や漁港、直売所に行き、直接生産者から話を聞いたり、食材を食べ材料を決定しています。

6年連続日本一の漁獲量を誇る「糸島天然真鯛」や糸島野菜、乳製品など多くの糸島食材がメニューに使われます。

東京で糸島食材をPRする機会になり、糸島ブランドを全国に発信していきます。

昨年度、当市の事業「糸島ファーム to テーブル事業」において、株式会社バルニバービの総料理長大筆シェフを案内したのがきっかけで、宮本シェフが糸島を訪れています。



「糸島ファーム to テーブル事業」とは

関東の消費者に糸島食材を料理として食べていただき、糸島ファンになってもらうために、東京からシェフを呼んで糸島の豊富な食材を紹介します。また、東京で糸島食材を食べることができるレストランを宣伝することで、糸島食材を知っていただきファンになってもらうための事業です。

多くの人に糸島食材を食べてもらうため、糸島から東京のテーブルへ。幸せな気持ち、心豊かになれる料理を届ける！

糸島ファームtoテーブル事業



「DRAWING HOUSE OF HIBIYA (ドローイング ハウス・オブ・ヒビヤ)」概要

東京ミッドタウン日比谷 6F の“空中庭園”にガーデンテラスシートを配し、皇居外苑、日比谷公園を借景に緑を望む約 150 席のガーデンレストラン。

住所：東京都千代田区有楽町 1-1-2 東京ミッドタウン日比谷 6F

電話：03-3519-3700

お店のHP：<http://drawing.restaurant/>

149 席（テラス席もあり）

DRAWING HOUSE OF HIBIYA 料理長 宮本 光 氏

平成 30 年 3 月末 東京ミッドタウン日比谷にオープン。

東京カレンダー 8 月号、オズマガジン 10 月号に紹介されています。



株式会社バルニバービ について

関東と関西を中心にカフェ・レストラン・スイーツショップを 80 店舗以上展開。

地域性やスタッフの得意な事などをベースに、異なるコンセプトを持つ飲食店を企画・運営する。

<http://www.balnibarbi.com/>

【問い合わせ】秘書広報課ブランド推進係 担当 岡・長谷川・藤森 電話 3 3 2 - 2 0 7 9

(株)博多大丸『九州探検隊』を市の情報発信アンバサダーに認定します

糸島市は、地域貢献と九州の活性化を目的とした(株)博多大丸「九州探検隊プロジェクト」の趣旨に賛同し、市の情報発信アンバサダーに認定するとともに、今後、相互協力しながらホームページやSNSでの情報発信及び販売催事や特別ツアーの開催などの連携事業を企画していきます。

九州探検隊プロジェクト

開業65周年を迎えた(株)博多大丸が、九州の地域に根差した百貨店として「もっと、大丸ができること」をスローガンに立ち上げたプロジェクト。

九州のまだ知られていない食材や工芸、伝統、文化など様々な「モノ」・「コト」を行政と一緒に発掘し、お客様に広く紹介することによって、九州全体の活性化を目指します。



想定される連携事業

- WEB活動...各ホームページの相互リンク、『九州探検隊』ホームページでの情報発信など
- 店頭活動...大丸8階催事場やパサージュ広場を活用した販売催事など
- 実地活動...探検隊員による糸島探訪、友の会限定糸島ツアーなど

アンバサダー認定式

- 日 時：2018年9月28日（金）定例記者会見終了後
- 会 場：糸島市役所 本館3階 総務文教常任委員会室
- 内 容：糸島市長と(株)博多大丸社長による認定書署名、質疑応答、記念撮影など

